



ヘラーのレーダー技術がスズキ株式会社「スイフト」「スイフトスポーツ」に採用

「ブラインドスポットモニター」と「リヤクロストラフィックアラート」など安全装備の充実に貢献

2020年6月東京 - コンパクトカー市場のマーケットリーダーであるスズキ株式会社（以下、「スズキ」）がヘラー（本社：ドイツ リップシュタット）の24GHz後方レーダー技術を、フラッグシップモデルのスイフト・スイフトスポーツ（日本生産/2020年5月発売）に採用しました。2018年にはスズキ ビターラ（日本名: エスクード）でヘラーのレーダー技術が採用されています。これにより、「ブラインドスポットモニター」や「リヤクロストラフィックアラート」などの安全装備の拡充に貢献しています。「ブラインドスポットモニター」は、走行中にドライバーの死角となりやすい後方から接近する車両を検知し、車線変更する際に危険を警告します。「リヤクロストラフィックアラート」は、駐車場での操作中に車両に接近すると警告を発します。

「弊社のレーダーは先進運転支援システム (ADAS) において必要不可欠な要素であり、スズキと協力して新世代「スイフト」、「スイフトスポーツ」の安全装備の一翼を担うために、特定のアプリケーションを開発する機会に恵まれ、感謝しています。」とヘラージャパン株式会社 マネージングディレクターであるローニー・チック氏は述べています。これは、スズキとの関係を深めるとともに、日本の自動車市場におけるヘラーの事業拡大に取り組む重要な一歩です。スズキとそのお客様により付加価値の高いADASソリューションを今後とも継続的に提供したいと考えています。

ヘラーは後方アプリケーション向けに24GHzレーダーセンサーの量産を開始した最初の企業の1社で、約20年前からレーダー事業で活躍しています。それ以来、ヘラーは技術を継続的に改善し、現在までに3,000万台以上のセンサーを製造することで、この分野におけるグローバル市場リーダーの地位を強化してきました。

お問い合わせ先:
HELLA GmbH & Co. KGaA

PRESS RELEASE



Dr.リッチャー・マーカス
企業広報
Rixbecker Strasse 75
59552 Lippstadt
Germany
電話: +49 (0)2941 38-7545
ファックス: +49 (0)2941 38-477545
Markus.Richter@hella.com
www.hella.com

ヘラージャパン株式会社
山下里美
広報
電話:+81-70-1272-1935
メール:Satomi.Yamashita@hella.com
<http://www.hella.jp>